

あわら 市議会だより



3月定例会報告	2p
委員会報告	4p
一部事務組合統合の報告	8p
一般質問	9p
議会トピックス	13p
陳情・請願・意見書	14p
討論	14p
議案等の審議結果及び各議員表決	15p
議会日誌・ふるさと探訪	16p

No.32

旅立ちの日(金津中学校卒業式 3月9日)

平成24年4月13日 発行

3月定例会

平成24年度一般会計予算成立

歳入歳出 126億6,000万円に!

会 計 名		予 算 額	前年度比較(%)
一 般 会 計		126億 6,000万円	4.5
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	31億 8,130万円	△0.4
	後 期 高 齢 者 医 療	2億 8,650万円	0.6
	産 業 団 地 整 備 事 業	516万円	20.6
	農 業 者 労 働 災 害 共 済	509万円	△1.4
	水 道 事 業	10億 7,680万円	△6.4
	工 業 用 水 道 事 業	1,059万円	△0.6
	公 共 下 水 道 事 業	24億 3,204万円	2.0
	農 業 集 落 排 水 事 業	7,938万円	3.3
	モーターボート競走	0	皆減
芦原温泉上水道財産区水道事業		1億 9,287万円	△6.3
合 計		199億 2,973万円	△8.2

平成24年3月定例会が2月29日から3月22日までの会期で開催されました。

今定例会では、専決処分の報告に関する1議案を受理し、平成23年度補正予算と平成24年度当初予算に関する19議案、条例の制定、改正及び廃止に関する12議案、事務委託の廃止に関する1議案、規約の変更に関する2議案、市有財産の無償譲渡に関する1議案、公の施設の指定管理に関する3議案、人事に関する6議案の計46議案が上程され、すべて原案のとおり可決しました。

なお、今回は7名の議員が一般質問を行い、理事者に対して市政をただしました。

また、議員発議により議会基本条例の制定及び議決すべき事件を定める条例の一部改正を行い、意見書1件を可決しました。

<地方債及び基金・積立金の状況>

地方債残高（市の借金）		平成23年度末 見込
一般会計	156億 8,405万円	
公共下水道会計	119億 8,571万円	
水道事業会計	22億 205万円	
農業集落排水事業会計	4億 7,434万円	
合 計	303億 4,615万円	
市民1人当りの借金		約101万5千円

住基人口 29,911人 (H24.2.1現在)

基金・積立金残高（市の貯金）		平成23年度末 見込
財政調整基金	21億 5,400万円	
地域振興基金	13億 0万円	
その他	9億 4,728万円	
※一般会計所管 計	44億 128万円	
国民健康保険基金	0	
農業者労働災害共済基金	3,715万円	
モーターボート基金	3,026万円	
※特別会計所管 計	6,741万円	
合 計	44億 6,869万円	
市民1人当りの貯金		約14万9千円

3月定例会

議会基本条例 賛成全員で可決!



3月定例会初日、議会活性化特別委員会の丸谷委員長から議会基本条例制定の提案が行われ、賛成全員で可決されました。

議会基本条例は、全員協議会など、これまで非公開とされていた会議も原則市民に公開するとともに、市政に対する市民の多様な意見を反映させ、議員と理事者間だけでなく議員間でも政策論議を活発に行い、二元代表制の一翼を担う議会の充実強化を図ることをめざすものです。

3月定例会でも、常任委員会において試行的に自由討議が取り入れられ、活発な論議が行われました。

現在、本会議のみをケーブルテレビで放映していますが、6月定例会からは、これに加えて本会議と常任委員会の様子がインターネットでも見られるようになります。

議会報告会のお知らせ

市民の皆さまに日ごろの議会活動を広く知っていただくために、議会報告会を開催します。

昨年12月に開催した前回の報告会には、2会場で87人の参加があり、さまざまな質問や意見交換が行われました。

今回は12会場で開催しますので、いずれの会場でもお気軽にご参加ください。

報告会では、議会だよりを中心に説明を行います。

日 時	会 場	対 象 地 区
4月19日(木) 19:30~21:00	湯のまち公民館	温泉及び山里地区
	本荘公民館	本荘地区
	LPG住設センター	新郷地区
4月20日(金) 19:30~21:00	北潟公民館	北潟地区
	波松区民館	波松地区
	市商工会本所	金津川北地区
4月24日(火) 19:30~21:00	市商工会本所	金津川南地区
	細呂木公民館	細呂木地区
	坪江公民館	坪江地区
4月25日(水) 19:30~21:00	劔岳公民館	劔岳地区
	伊井公民館	伊井地区
	吉崎公民館	吉崎、浜坂地区

総務文教常任委員会報告

平成23年度
一般会計補正予算

■財政課

歳入において地方交付税の増額補正

委員 普通交付税が当初24億円であったものが3億3千100万円余り増額補正されているがその理由は何か。

理事者 要因として当初予算では、税収等の不確定要因を考慮して低目に見ていたためである。

(地方交付税のなかには普通交付税と特別交付税がある。普通交付税は自治体の税収の不均衡を補うため国から自治体に交付されるもので、特別交付税は除雪、災害派遣等の特別の事情を考慮し交付されるものである。)

■教育総務課

海外派遣費

86万8千円減額

委員 芦原中学校で2名の欠員が生じたため、減額となっている。他の希望者を派遣すべきではなかったのか。

また、報告会はどうなっているのか。

理事者 金津中学校はアメリカ、芦原中学校は中



国際交流派遣事業報告会

国に毎年16名の生徒を派遣している。

今年は芦原中学校で、定員に2名足りず再募集を行ったが応募者がなく、2名欠員で派遣を行った。毎年募集を行うが保護者が反日感情を懸念しているようであり、芦原中学校で応募者が少ないのが現状である。

報告会は、市及び全生徒を対象に行っている。

給食費の未納

委員 自校方式は学校が給食費を集金しているが、センター方式では市が集金することになるため未納額が増えるのではないのか。

理事者 25年給食センター供用開始後、未納額が増えないようにしていきたい。

委員 集金業務においてきめ細かな対応をしていただきたい。

給食センター整備事業

3千191万9千円

委員 海拔6mを確保するために土盛りを行うが、現地は軟弱地盤であるため対策を考えているのか。

理事者 設計段階で協議しており、造成工事では行わないが、建築工事では

軟弱地盤対策を考えている。

平成23年度
あわらし市モーターボート競走特別会計補正予算

平成24年度
一般会計予算

■総務課

防犯灯経費

240万3千円

委員 ふるさと創生基金で設置した防犯灯の経費はどことが負担しているのか。

また、集落で設置した防犯灯について、器具の取替えは、補助の対象にはならないが、照度をアップした場合は補助対象になるなど各集落に周知徹底されていないのでは。

理事者 ふるさと創生基金で設置した防犯灯は、市が電気代や修繕費を負担している。集落内や集落間の防犯灯の維持管理費は集落が負担している。

補助制度の周知につい

では、毎年1月に全市区長会で資料を配布し説明しているが、なお一層の周知徹底を図りたい。

■政策課

あわコン事業補助金110万円

理事者 全国で盛んに開催されている街コンをあわら温泉街で開催し、多くの若者を楽しんでもらい街の活性化を図るほか婚活を応援するもので、観光協会や商工会などによる実行委員会を立ち上げて実施する。

委員 婚活も大切であるが、商店街の活性化も目的の一つであるので、単発なものではなく継続的に実施し、最終的には民間の活力で実施できるようにしてほしい。

■財政課

合併特例債の借入累計額

理事者 23年度末の借入累計額は、66億2千530万円、限度額は94億6千900万円で、残りの枠は28億3千560万円である。

■教育総務課

武道教育

委員 24年度から武道教育が始まるが金津は剣道、あわらは柔道とした根拠はなにか。

理事者 金津・芦原両中学校では、これまでも武道教育を実施しており、引き続き金津中学校は剣道、芦原中学校は柔道を行う。



市民武道館

画はどうなっているのか。

理事者 市の武道館は剣道と柔道を併用した武道館であるため、畳の下にスプリングをつける予定はない。しかし、床下にゴムによるクッションを設ける。

小規模小学校の統廃合は

委員 児童数が少ない小学校が4校あるが、このままの存続は難しいのでは。

理事者 学校は地域のシンボルであるので、人数にあった教育を行っていく。

しかし、統廃合は避け

て通れない問題であり、今後、教育プランをまとめる中で、学校教育のあり方について検討委員会を立ち上げ、地元の意見も踏まえ、方向性を出していきたい。

安全で明るい通学路普及促進事業

52万5千円

委員 LED防犯灯を通学路に設置することのことだが、設置場所についてはどのようにして決めているのか。

理事者 小学校に趣旨説明をすると共にアンケート調査を行い、担当者が夜に現場を2度確認して設置場所を決定した。

■スポーツ課

剣岳グラウンドの利用について

委員 剣岳グラウンドの借上げ料は61万5千円と聞いているが、ほとんど



剣岳グラウンド

議案外の報告

■教育総務課

給食センターの設備

4社によるプロポーザルコンペを行いコストと安全性を考慮しオール電化とすることになった。

(仮称)生涯学習館の施設整備と展示の基本方針が示された。

厚生経済常任委員会報告

平成23年度
一般会計補正予算

■観光商工課

**（財）セントピア芦原
運営補助金
6億5千万円**

理事者実質、市の借金である財団の負債の残り6億5千万円（平成11年に12億円で購入した、湖畔公園高台用地の購入費の未返済分）を今回の補正で財団に支出し負債をゼロとしたい。

それに加えて、公益法人制度の改革や、「県立芦原青年の家」の移転計画も具体化しているので、4月以降財団法人の解散手続きを経て清算を行い、用地については、市に帰属させたいためである。

平成24年度
一般会計予算

■市民生活課

**デマンド交通
運行事業
4千244万3千円**

委員 予約配車センターも含め業者委託である。運行状況をどのようにチェックするのか。

理事者 業者からの日報や予約センターの予約受付票に基づきチェックする。また、実際に利用した市民にも抽出により調査したい。



乗合タクシー ステッカー

**ごみ処理事業（廃プラスチック収集分）
1千103万3千円**

委員 24年度より新たに廃プラ専用のごみ袋を作製すると聞いたが、一般のごみ袋と併せて発注した方が安価になるのではないかと。

理事者 ごみ袋は一活して入札を行う。しかし、近年原油価格が高騰しているため、2、3年前に比べ高めの予算計上をしている。

■子育て支援課

**設計業務委託料
550万円**

委員 金津幼児園の建設予定地（案）について、候補地選定の比較表を提示し、現在の候補地がベターであるとの説明を

すべきである。手順としては、候補地を検討した資料を全部提出し、選定理由の説明を行わないといけない。

理事者 資料を提出し、議会で候補地について検討してもらう。

設計業務委託料及び関連予算は、候補地の了解が得られるまで、執行しないようにする。

■農林水産課

**バイオマス供給施設
整備事業補助金
1千417万8千円**

委員 地元は騒音や匂い等環境の悪化を懸念している。市はどのように考えているのか。

理事者 事業主体である森林組合に公害の発生がないように申し入れる。

■観光商工課

**セントピアあわら
管理経費**

委員 24年度もリニューアル工事1千290万円を計上し、ここ数年で相当の改修費用を要しているが、計画を立て、改修を行うべきではないのか。

また、管理委託料が昨年に比べ950万円増加している理由は何か。

理事者 配管や、る過機の破損が発生した場合は、そちらが優先になってしまふ。また、委託料が増加している理由は、燃料単価の高騰により燃料費と光熱水費で約400万円が増加、利用料及び喫茶・物販販売等の収入で550万円落ち込むことを予想しているためである。



セントピアあわら

**ふくい映画全国発信
プロジェクト
469万1千円**

委員 あわら市にとってどのようなメリットがあるのか。

理事者 この映画の前回作「旅の贈りもの0：00発」は中国地方を舞台として制作されており、18万6千人の観客動員

があった。福井県としての経済効果であるが、今回も同程度の観客動員があった場合、観光客が1万人から2万人増加すると見込んでいる。

■建設課

**公営住宅
長寿命化事業
9千517万5千円**

委員 改修後の1、2階の住宅の間取りを3LDKから2LDKにする理由は何か。

理事者 30年前は家族連れを想定した間取りであったが、近年の入居者は高齢者のみの世帯が多いためである。

**芦原温泉上水道
財産区水道事業
給水条例の一部を
改正する条例**

委員 24年度以降の事業収支はどのように考えているのか。

理事者 事業収支を改善するため基本料金を900円から1千150円に、超過料金1立方メートルにつき120円から145円に改正する。今回の改定は、24年単年度だ

けを考慮し改定した。このまま給水量が落ち込むと25年度以降も料金改定が必要となる。しかし、給水量が増加する要因もあるため、給水予想の上方修正も考えている。

**公の施設の指定管理
者の指定（セントピアあわら）**

委員 指定管理者を最初から公募することはできないのか。

理事者 セントピアあわらの指定管理者として、平成24年4月1日から2年間一般社団法人あわら市観光協会を指定する。

収益施設であるため、民間への指定管理がベストであると思うが、今回は時間が無いため暫定的に観光協会へ指定管理を行い、2年後には公募したい。

**公の施設の指定管理
者の指定（湯の
まち広場）**

委員 植栽管理費を175万円計上しているが、そこまでの経費が必要なのか。

また、指定管理料804万円は実績により精算するのか。

理事者 芝や樹木の管理が必要であるため、植栽管理費を計上している。精算を行い、必要がある場合は返還してもらう。

議案外の意見

4月から実施されるデマンド交通と金津地区での幼児園建設予定地については、いずれも議会への説明が不十分であり、不都合な点も見受けられた。

今後は、議会に対し説明を十分に行い、意見をよく聞いてから事業を進めるように望むものである。



映画「旅の贈りもの」 エキストラ等募集チラシ



あわら温泉 湯のまち広場

特別委員会 報告

中心市街地活性化特別委員会

中心市街地活性化特別委員会を2月16日に開催し、まちづくりの現状と今後の施策について協議を行いました。

湯のまち広場について、委員からは、「敵九郎記念館は入場者が増加していると聞くが、子ども達を含め、地元への関心をもっと高める努力をしてほしい。」また、「公園北側の路上駐車をどうにかしてほしい」との要望がありました。

次に、空き店舗対策はどうなっているのかとの問いには、「現在50件の空き店舗がある中、4店舗しか利用されていない。原因としては、実際、空き店舗に住民が居住している問題があり、簡単ではなく、今後、検討していく」との回答がありました。

その他、人が集まるには、「仕掛け」が必要であり、J R 芦原温泉駅前にぎわい広場の検討は、地元の方々の意見を反映すべきです。（仮称）生涯学習館と広場をつなぐ道の「にぎわい」づくりも積極的にを行い、金津地区に残る本陣飾りの伝統を伝え、図書館や埋蔵文化財の展示を通して街の良さを発掘し、発展させることなど「まちづくり」について話し合いました。

環境対策調査特別委員会

環境対策調査特別委員会を3月15日に開催しました。赤尾地係の廃棄物不法投棄について、前回の委員会において理事者側の説明では、不法投棄を行った業者が投棄物を搬出し、ほぼ原状どおりに復帰したというものでありましたが、しかし、

委員が現場を確認したところ、現状に復帰していないという報告があったため、急遽開催したものです。今回は、理事者以外にオブザーバーとして福井県坂井健康福祉センターの担当課長も出席しました。担当課長から、「今回の件に関しては、行政指導に従っていること、水質検査の結果も環境基準未達であることから、勧告書を出すだけに留めた。改善計画書では、耐火ボード等を5月末まで



赤尾地係の不法投棄

で処理することになっており、処理しない場合は、次の手段を考えたい」という説明がありました。

委員からは、「関係機関が協議した結果、改善計画で済ませるのは納得がいかない。告訴したいのは何故か」という質問もありました。しかし、改善計画では、5月末までに全てを撤去することとなっているので、それまで、静観することになりました。

一部事務組合統合の報告

平成22年12月24日からあわら市議会と坂井市議会の代表者による、坂井地区介護保険広域連合、三国あわら斎苑組合、坂井地区環境衛生組合、坂井地区水道用事務組合、の4組合の統合を進めるための協議会を発足させました。

この事務組合にはそれぞれ議会があり、あわら市、坂井市の議員41名が所属していました。

また岐阜県本巣連合の視察も実施し24年4月1日をもって坂井地区広域連合に統合することが決定されました。

統合により所属議員定数が23名減の18名となります。

また職員減による人件費減も見込まれ合理化効果が期待されます。

市政について問う!

3月の定例会では、7名の議員による一般質問が行われました。ここでは、質問と答弁の要旨を掲載します。（通告順）



吉田 太一 議員

- 健康のまちあわら市宣言について
- 学校における風邪及びインフルエンザ対策について



山川 知一郎 議員

- 北陸新幹線の延伸について
- 国民健康保険税の改定について



笹原 幸信 議員

- 農地・水保全管理支払交付金事業に対する取り組みについて
- 小中学校のエアコン設置について



牧田 孝男 議員

- （仮称）生涯学習館のまちづくりに果たす役割について



坪田 正武 議員

- 北陸新幹線建設に伴うあわら市の経費及び駅周辺のまちづくりについて
- 北陸新幹線金沢開業に伴うあわら市の受け入れ対応について



八木 秀雄 議員

- あわら市総合振興計画（後期基本計画各論の課題）について
- えちぜん鉄道公共交通活性化総合連携計画「平成33年度の利用者目標333万人」について



卯目 ひろみ 議員

- 総合振興計画の後期基本計画について
- 就学前教育のあり方について



吉田 太一 議員



医療費が高い

原因は！

吉田 9市の中で医療費及び入院医療費も高いと言われているが予防策はとっているのか。

活習慣病予防軍を対象にした健康教室の開催を行っています。

直接的な対策として平成24年度から調剤についてジェネリック薬品、安価で有効な薬品の使用を促進していきたいと考えています。

学校のインフルエンザ対策は！

吉田 風邪及びインフルエンザの対策をどのように行っているのか。

また、予防策として効果があるといわれている乳酸菌ヨーグルトを学校給食の献立に導入する計画はないのか。



うがいの様子

教育部長

学校では「手洗い・うがい・咳エチケット及びマスク着用、教室の適度な換気」など予防策を徹底しています。

乳酸菌ヨーグルトを学校給食の献立に加えることに关しては、保護者の負担増になることから、従来から行っている予防対策の徹底を図っていきたく考えています。

笹原 幸信 議員



「農地・水」の新対策は！

笹原 24年度から農地・水保全管理支払交付金事業に新たな交付金事業が始まると聞いているが、市内の取り組み状況はどのようになっているのか。

また詳細な説明がないと思うがどうか。

経済産業部長 共同活動の参加率は約78%で、現状並みであり交付金単価については、今までの75%を上限としています。

一方、新たな取り組みとなる向上活動（水路や農道等の整備）は約

63%の参加率で、交付金単価は、10aあたり4千400円であります。この事業に係る4千794万2千円を24年度の予算に計上しています。

詳細な事業説明については、実施要綱が制定されていないため、確定後にお知らせします。

また、向上活動の活動内容について、要綱では「水路に加え」となっています。水路補修等が必須項目と捉えられるため、ゼロ%の場合は、採択が困難と考えます。



共同活動（植栽）

エアコンを教室に設置すべき！

笹原 最近の夏は、猛暑が続いている。教室のエアコンの設置を早急に進めるべきである。

教育部長

エアコンの設置状況は福井市、敦賀市、小浜市、大野市、勝山市では設置中もしくは24年度から設置する予定になっています。

当市においては、小中学校の耐震補強を完了したが、今後も小学校のプール改修や学校給食センター建設に巨額の財源が必要です。

今後検討課題として、大規模事業の終了後に新たに検討したいと考えています。

坪田 正武 議員



新幹線の市の財政負担は！

坪田 市の新幹線に関わる負担金はいくらか。

また、新幹線開業後のJRからの固定資産税はどれくらいか。

駅周辺に新幹線早期実現の看板等を設置してはどうか。

市長

駅部を含む約900mが市の負担の対象です。工事費用や貸付料の割合も不明確であるため、詳細な金額については不明ですが、5億円程度と想定されます。

固定資産税は、工事



九州新幹線つばめ

エレベーターを設置するの！

坪田 JR芦原温泉駅の、エレベーター設置の進展はどうなっているのか。

また、関東地区から来る観光客を福井、あわら温泉まで呼び寄せる具体案はあるのか。

副市長

芦原温泉駅のバリアフリー化、エレベーター設置事業はJR西日本との協議の中で、24年度に実施設計に入るとの回答で関係機関一丸となり早期実現を求めます。

あわら温泉と県内の有名観光地を結び県内周遊を拡大し、観光や商工機関と連携し顧客の増を図りたいと思っています。

また、温泉や歴史遺産など一体的観光地を形成している加賀地域と連携し「越前加賀宗教文化街道」折りの道「推進協議会」など宗教文化資源を活用した旅行商品の開発を計画しています。

八木 秀雄 議員



中高一貫教育の成果と課題は！

八木 中高一貫教育を平成17年から実施しているが、その成果と現状及び課題はどのようなになっているのか。

教育長

7年間の成果については、中高教員の相互乗入れを通じた授業の充実、高校教員とのTT(ティーム・ティーチング)授業の実践などにより、「確かな学力」の育成につなげることができました。

さらに、金津高校オーブンスクールの開催や先輩と語る会の開催などにより、高校入学後

も不応を起こさないよう、適切な進路意識の高揚を図っています。

一方、課題としては、連携クラス生の出願が近年低調となっていることが挙げられます。これは、選択教科の授業内容が難しいため、ついていけない生徒があることがその要因ではないかと考えられます。

今後は、これらの課題の解決策を探りながら、中高一貫教育のあり方について、さらに研究を重ねて参りたいと考えています。

湯のまち駅舎の整備は考えていないのか！

八木 まちづくりや観光の核として、えちぜん鉄道あわら湯のまち駅舎などの整備は考えているか。



えちぜん鉄道

市民福祉部理事 大規模改修などは考えていません。非日常利用者の利用促進を図るためには、地域全体としての魅力づくりが不可欠です。関係機関と一体となり、多角的な観点から関連施策の充実に努めたいと考えています。



卯目ひろみ 議員

後期基本計画は、どこに重点をおいたのか！

卯目 総合振興計画について、前期と後期での苦心と工夫はどこか。

市長 市の重点政策でもある「若い世代が住み、生み、育てていくまち」と定め、その実現のためのツールとして、今回、全81に上る施策の中から「H.E.C.E構想重点施策」として15の施策をピックアップしました。

こうして施策を体系付け、重点政策とリンクさせることにより、後

期基本計画であわら市が目指すまちの姿をより分かりやすく示しました。

卯目 あわら式幼児教育とは、どのようなものか。

また、芦原幼児園の園庭は狭くないか。

市民福祉部長 公立の金津保育所と芦原幼児園において「たくましい保育」を実施。園児が運動と学習の楽しさを知り、自らの忍耐力や集中力を養っています。



たくましい保育

また、シルバー世代に保育の現場で保育補助を行ってもらう「シルバー世代による保育応援事業」を本年度から実施しています。園児が高齢者と触れ合い、和やかな時間を過ごしており、情操教育の助けになっています。

北陸新幹線建設への同意をやめよ！

山川知 新幹線建設費は10mで1億円。無駄な投資はやめるべき。

新幹線が敦賀まで開通しても、東京までの所要時間や運賃は現在とたいして変わらず、関西や中京は利便性が悪くなる。

現在のJR線は第3セクターとなることであるが、市の財政負担はどうなるか。また、運賃も大幅に値上げされるのではないか。

新幹線開通による経済効果も根拠が明確でなく、並行在来線を第3セクターとすることを



山川知一郎 議員

前提とした新幹線建設への同意はやめるべきではないか。

土木部理事 第3セクター設立・運営に関することはこれから検討することです。現時点では分かりません。運賃についてもこれから検討されますが、石川県では27%の引き上げが必要と言われています。



在来線の特急列車

市長 あわら市だけが取り残されるわけにはいきません。財政負担については、県が、沿線自治体の負担が過重とならないようにすると

言っているので、何らかの支援があると考えています。

国保税値上げ やめよ！

山川知 あわら市の国保税は県内で最も高く、負担は限界である。国保税の値上げを抑えるべきではないか。

市民福祉部長 平成27年度の税と社会保障の一体改革、また、平成30年度には国保保険者の都道府県一本化が予定されています。それまでの間、一般会計からの繰入や税の見直しを行いながら財政の維持を図りたいと考えています。

牧田孝男 議員



(仮称)生涯学習館の位置づけは！

牧田 1階図書館と2階文化財展示との相互的な関係をどう考えているのか。

また、生涯学習館につながる歴史の道をまちづくりの観点からどう位置づけるのか。

市長 生涯学習館の1階には図書館、2階にはあわら市の宝である文化財の展示施設として、一体的な利用に配慮しながら整備していくことで、文化発信の拠点になるものと考えています。

本陣飾りや埋蔵文化財、市にある宝を広く市民の皆様、ひいては観光客の方にもご覧いただけるものになりたいと考えています。

また、これらを公開していくことで、郷土愛を培い、後世に素晴らしい伝統を受け継いでいただけるものと期待しています。

次に、生涯学習館とまちづくりについてですが、JR芦原温泉駅前から生涯学習館までの、にぎわいづくりを仕掛けていきたいと考えています。

駅前のにぎわい広場やにぎわい館の整備をはじめ、北陸街道の宿場町として栄えた頃のにぎわいの復活や、本陣飾りの常設館の設置などの仕掛けを検討しているところだ



生涯学習館までの道

トピックス

市議会議員 在職10年表彰

第58回定例会の冒頭、「福井県市議会議長会表彰」の伝達式がありました。

山川 豊
町議5年、市議8年卯目ひろみ
町議5年、市議8年牧田孝男
町議5年、市議8年丸谷浩二
町議5年、市議8年

※町議時代の在職年数は、1/2を市議在職年数に加算します。
なお、全国市議会議長会及び北信越市議会議長会へも表彰の内申を行っています。

三国あわら斎苑組合 感謝状

2月6日に開催した三国あわら斎苑組合議会に先立ち、4半世紀にわたり斎苑事業運営や代官山斎苑の建設に尽力した功績をたたえ、杉田 剛議員に「感謝状」が授与されました。



平成24年3月 第58回あわら市議会定例会 議案等の審議結果及び各議員表決

○…賛成 X…反対 ー…欠席等 ※議長(向山信博)は採決に加わらないので「/」で表示		議決結果	吉田 太一	森 之嗣	杉本 隆洋	山田 重喜	三上 薫	八木 秀雄	笹原 幸信	山川 知一郎	北島 登	向山 信博	坪田 正武	丸谷 浩二	牧田 孝男	卯目ひろみ	宮崎 修	山川 豊	東川 継央	杉田 剛
市長提出議案	平成23年度一般会計補正予算(第5号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	-
	平成23年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	-
	平成23年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	-
	平成23年度モーターボート競走特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	-
	平成23年度水道事業会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	-
	平成23年度工業用水道事業会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	-
	平成23年度公共下水道事業会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	-
	平成23年度農業集落排水事業会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	-
	平成23年度芦原温泉上水道財産区水道事業会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	-
	平成24年度一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	X	○	/	○	○	○	○	○	○	○	-
	平成24年度国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	X	○	/	○	○	○	○	○	○	○	-
	平成24年度後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	-
	平成24年度産業団地整備事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	-
	平成24年度農業者労働災害共済特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	-
	平成24年度水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	-
	平成24年度工業用水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	-
	平成24年度公共下水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	-
	平成24年度農業集落排水事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	-
	平成24年度芦原温泉上水道財産区水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	-
	景観条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	-
	行政組織条例及び特別会計条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	-
	税条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	X	○	/	○	○	○	○	○	○	○	-
	国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	-
	重度障害者(児)医療費助成条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	-
	廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	-
	市営駐車場条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	-
	市営住宅条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	-
	図書館条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	-
	名泉郷会館条例を廃止する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	-
	スポーツ振興審議会条例及び学校体育館の開放に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	-
	芦原温泉上水道財産区水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	-
	モーターボート競走施行事務の委託の廃止に関する協議について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	-
	福井県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び同組合規約の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	-
	福井坂井地区広域市町村圏事務組合規約の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	-
	市有財産の無償譲渡について(名泉郷会館)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	-
	公の施設の指定管理者の指定について(セントピアあわら)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	-
	公の施設の指定管理者の指定について(あわら温泉湯のまち広場)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	-
	公の施設の指定管理者の指定について(金津創作の森)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	-
	市道路線の認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	-
	教育委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
	教育委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
	公平委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
	公平委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
	公平委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
	人権擁護委員の候補者の推薦について	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
市会案	議会基本条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会の議決すべき事件を定める条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
	障害者総合福祉法の制定等に関する国への意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	-
請願	特急列車廃止・削減反対の意見書提出を求める請願	継続審議																		
	公的年金の改悪に反対する意見書提出を求める請願	不採決	X	X	X	X	X	X	X	X	○	X	/	X	X	X	X	X	X	-
陳情	障害者総合福祉法の制定等に関する国への意見書提出を求める陳情書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	-

請願・陳情・意見書

※地方自治法第99条において、議会は、あわら市の公益に関する事件につき、意見書を国会や関係行政庁に提出することができます。

●障害者総合福祉法の制定等に関する国への意見書提出を求める陳情

「要旨」

障害者自立支援法が施行されましたが、法の施行直後から様々な問題点が指摘をされ、その後、障害者自立支援法訴訟の原告との間で、速やかに応益負担制度を廃止し、障害者自立支援法を廃止し、新たな総合的な福祉法制定を実現するとの基本合意を交わしました。

よって、政府は、新法の制定に際して、骨格提言を最大限尊重するとともに、新法が実効性のあるものとなるよう十分な予算を確保されるよう要望する。

「提出者」 きょうされん福井支部、
運営委員長 吉田 謙治

「結果」 意見書を提出

「提出先」 内閣総理大臣、財務大臣、
厚生労働大臣、総務大臣



●公的年金の改悪に反対する意見書提出を求める請願

「要旨」

厚生労働省は、「特例水準」を解消するとして、3年間で2・5%の年金引き下げを行おうとしている。しかし、高齢者の生活を守る立場から、公的年金の削減を行わないことを要望する。

「提出者」 全日本年金者組合、福井県本部 執行委員長 山野寿一

「結果」 不採択

平成24年度 一般会計予算に関する 討 論

反対

自衛隊は憲法9条に違反する存在であり、小中学校での給食費等の徴収も、「義務教育は、これを無償とする」とした憲法26条に反している。
公務員や議員には憲法遵守の義務があり、憲法違反の予算は認められない。
新幹線は、税金の無駄遣いであり、やめるべきである。

自衛隊は、自分の身は自分で守らなければならないという意味、また、東日本大震災の救助活動でも大きな役割を果たしており、国を守るためにも必要である。
新幹線に関しては、新幹線が通らなければ福井だけが取り残されてしまうため、必要である。

賛成

●特急列車廃止・削減反対の意見書を求める請願

「要旨」

北陸新幹線金沢開業に伴い、北陸地方と関西や中京方面をつなぐ特急列車を廃止・削減させることなく、存続を要望する。

「提出者」 長谷川 勲

「結果」 継続審査

議会日誌 おもな会議のみ掲載

1月11日	議会活性化特別委員会 (以下1月30日、2月7日、21日、 3月23日、4月9日開催)
13日	議会運営委員会(全員協議会)
16日	議会運営委員会行政視察 (17日)
2月13日	市議会議長会合同研修会 全員協議会
15日	環境対策調査特別委員会
16日	中心市街地活性化調査特別委員会
21日	議会運営委員会
22日	全員協議会
24日	厚生経済常任委員会協議会
29日	全員協議会
3月6日	第58回議会定例会 開会 第58回議会定例会一般質問 広報編集特別委員会
7日	総務文教常任委員会
8日	総務文教常任委員会
9日	総務文教常任委員会
12日	厚生経済常任委員会
13日	厚生経済常任委員会
14日	厚生経済常任委員会
15日	環境対策調査特別委員会
16日	総務文教常任委員会
21日	議会運営委員会
22日	全員協議会
23日	第58回議会定例会 閉会
27日	広報編集特別委員会
4月3日	広報編集特別委員会

ふるさと探訪

「古代の劔岳は」

棚にある劔岳公民館には、かつて劔岳小学校が建っていた。木造2階建ての校舎で、講堂の上に教室があり、廊下も階段も毎日雑巾がけされ、ピカピカに光っていた。残っていれば、重要文化財の価値はあるのではないかと思う。惜しい限りである。この学校の裏は林で、その中に棚の神社と古墳がある。古墳の中に入ったり、追いかけてっこをしたりしたことが楽しく思い出される。

棚古墳は、劔岳村誌によれば、「前方の封土(ふうど)が崩壊しているために、円墳か或いはもと前方後円墳であったものか、その点は明確ではない。この古墳を構成する石は内部に面する部分は平面に削った大きな凝灰岩であって、天井石及び奥壁はいずれも一枚の石材である。

石室の内部は玄室といい、外方は羨道(せんどう)と呼ばれているが、その区別は明瞭で、その境界点には角の石材で門構えのように組まれている。・・・内部の玄室は死者の遺骸(いがい)を納めたところで、石棺が置かれていたであろう・・・。

昭和28年4月、この古墳の西北方に当たる八幡神社の境内地から、祝部(いわいべ)土器数個と大破した甕(かめ)の破片を発掘したが、これはこの古墳に関係ある埋葬品ではないかと思われる」と、記述されている。

古代、劔岳地区はどのようなものであったのか、興味尽きない此の頃である。
(山川知)



編集後記

議会活性化の取り組みのひとつ。この3月定例会から各委員会の中で自由討議の時間を設けることとなりました。両常任委員会、時間を忘れるほど活発な意見が出てきました。

先日講演を聞いた京丹後市の議会では、最初の内は夜中になってしまふこともあったそうです。我が議会も放っておけば全くその通りになりそうな勢いでした。「まち」を思う熱い気持ちが伝わり感動さえ覚えました。

議員は理事者の説明を聞き、そのことについて審議をするのですが、これまで以上に議員自らが広い視野に立ち、現場の話を聞いたり調査したりすることで、単なる批判ではなくお互いが同じ方向を見据え、まちづくりを進める。
その大切さをますます痛感することとなりました。
(卯目)

編集・発行責任者

市議会広報編集特別委員会

議長 長 向 山 信 博

委員 長 笹 原 幸 信
副委員長 牧 田 孝 一 男委員 杉 吉 隆 洋
委員 山 本 田 一 郎
委員 坪 川 知 郎
委員 卯 目 正 武

発行 あわら市議会 編集 あわら市議会広報編集特別委員会

◆市民に親しまれる、紙面作りを目指しています。ご意見、ご感想をお待ちしております。

〒919-0692 福井県あわら市市姫三丁目1番1号 あわら市役所議会事務局
Tel. 0776-73-8045(直通) E-Mail. gikai@city.awara.lg.jp